

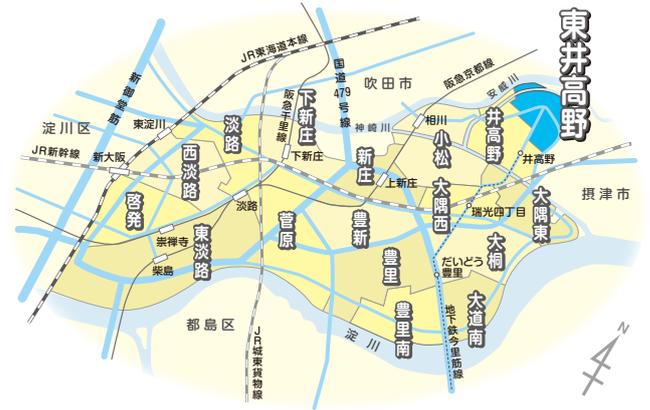
# 東井高野

## 地域社会福祉協議会

### 地域のデータ

- 人口：8,196人(区内12位)
- 世帯数：3,409世帯(区内15位)
- 少子化率：13.9%(区内3位)
- 高齢化率：26.9%(区内2位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 東井高野地域の変遷

大阪市最北端に位置し北に安威川、南に淀川が流れ、摂津市と吹田市に隣接する緑多い住宅地域であります。高層住宅への建て替えにより想像ができなかったほどベッドタウンとして変貌してきました。

1964(昭和39)年、道路整備により井高野車庫が開設され、市内への通勤・通学が便利になりました。また、2006(平成18)年地下鉄今里線開通により、鉄道が地域にとってより身近なものとなりました。

### ■ 現在の状況

- (若鮎太鼓) 平成7年青少年の健全育成を目的として小学校5年生を対象に若鮎太鼓が誕生し、地域の文化事業が盛んになり、子どもたちは中学、高校と太鼓部があるところに進学しているそうです。
- (芝生フェスタ) 東井高野小学校には芝生があり、育成する目的で芝生フェスタを開催してコンサートや遊びの場を提供しています。
- (青年団) 週3回の地域の見回りを継続したり、地域の行事に参加したりするなど協力を続けています。東井高野の原動力です。

### 事業・活動等

- ふれあい喫茶
- ふれあい型食事サービス
- 子育てサロン
- 夜間パトロール
- 見守り
- 芝生フェスタ
- 若鮎太鼓 など



### 東井高野地域のこれから

- 東井高野は団地が多く、高齢化、独居が進んでいく現在、個人情報という壁もある中で、地域の安全・安心を継続していくためには、青年団の力は必要不可欠です。様々な事業を継続していくことは、そこで暮らす人々にとって交流の入口となります。入口がたくさんあることで、地域住民が足を運べる機会が増えていくと考えます。

■ 20周年を迎える『若鮎太鼓』が、活動を通じて“世代間交流”や“地域のつながり”

の大切さを発信することで、地域の大きな財産として今後ますます発展し、明るい未来につながるものと期待しております。

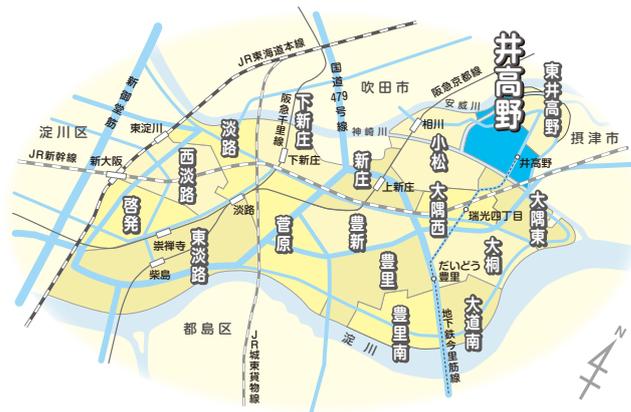
# 井高野

## 地域社会福祉協議会

### 地域のデータ

- 人口：9,451人(区内10位)
- 世帯数：4,033世帯(区内12位)
- 少子化率：13.5%(区内4位)
- 高齢化率：25.4%(区内6位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 井高野地域の変遷

井高野地域は大阪市の北端に位置し、のどかな田園風景も1952(昭和27)年頃から府営・市営住宅の建設ラッシュが始まり、大阪のベッドタウンと変化していきました。

高度経済成長による都市人口の増大に伴い、1982(昭和57)年頃から土地の有効活用や災害に強いまちづくりに取り組んできました。

### ■ 現在の状況

- 井高野地域社会福祉協議会の活動の全てをいたかの地域活動協議会が継続して取り組むことになり、現在も様々な事業を展開しています。
- 防災訓練では、夜間訓練、水害防災訓練などに取り組んでいます。
- 学校関連3事業(はぐくみネット事業・小学校体育施設開放事業・生涯学習ルーム事業)に取り組むとともに、区社協と共同事業体を形成し、井高野小学校児童いきいき放課後活動事業を受託するなど多彩な活動を展開しています。
- 機関誌『月刊ピース』を発行し、広報活動の充実に努めています。
- 従来のふれあい型食事サービスは『いこい』としてリニューアルし、来店された方々にメニューの中から好きなものを注文してもらうなど、改革が浸透してきました。



### 事業・活動等

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ふれあい喫茶          | こども会育成事業      |
| ふれあい型食事サービス     | 百歳体操          |
| 子育てサロン(月2回)     | 健康ウォーク        |
| 児童いきいき放課後事業     | 社会を明るくする運動 など |
| 青少年育成事業(校庭キャンプ) |               |



### 井高野地域のこれから

- 井高野に住むすべての人々の連帯感をはぐくみ、健康と福祉の増進に努めるために“自らの町は自らの手でつくる”という決意のもと活動を続けていきます。
- “ふるさと井高野”づくりに向けて企業や団体に協力を求め、地域福祉の向上のため、高齢社会をプラスに変えて前進していきます。
- 子どもたちや保護者が安心して暮らせるよう、小学生・中学生を対象に、有償・無償にこだわらずサポートするための取り組みをおこないます。
- 高齢者見守り事業・井高野地域福祉計画実現のために福祉とボランティアの拠点の場としてのステーションづくりに取り組んでいきます。

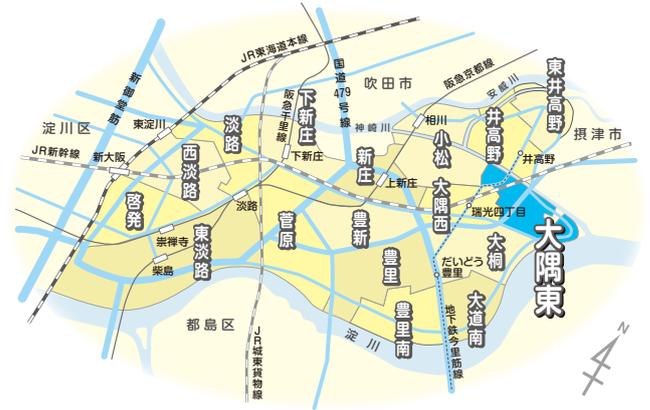


みんなで盛り上がる地域のまつり



# 大 隅 東

## 地 域 社 会 福 祉 協 議 会



### 地域のデータ

- 人 口：7,495人(区内15位)
- 世 帯 数：3,477世帯(区内14位)
- 少子化率：12.2%(区内9位)
- 高齢化率：26.1%(区内4位)

(2010年国勢調査の結果より)

### 大隅東地域の変遷

大隅東地域は、西行法師ゆかりの江口の君堂などの史跡が残る歴史ある地域です。かつては水田などの多い土地でしたが、現在は住宅街へと変化していて、日常の買い物などもしやすく、便利で暮らしやすいまちになりました。

昭和50年代から始まったふれあい型食事サービスですが、当初は設備もなく、冬の冷たい水は大変つらいものでした。後に増築された立派な厨房は、今も大活躍です。心のこもった本格的なお料理は、利用者には好評で喜んで頂いています。



手作りの食事は工夫を凝らして彩りも豊か



ふれあい型食事サービス

### ■ 現在の状況

- 近年、高齢化・独居等が増えてきました。老人会での活動や食事サービス・ふれあい喫茶などが、孤立化を防ぐ大切なコミュニティの場となっています。
- また、子育て支援では、エコホール江口を利用し、親子の交流や育児の応援を行っています。夏には、幼児向けのプールも開催しており大賑わいです。
- 『老人敬愛体育大会』は、最も大きな行事です。聖火台を立て盛大におこなっています。プログラムは幼児から高齢者までが参加できる内容で、地域全体が集う貴重な一日です。敬老式典もこの体育大会でおこなわれますので、総勢2千人でお祝いしています。老いても若きも汗をかき、親睦を深め、結束力を高めています。

Pick up



老人敬愛体育大会

### 事業・活動等

- ふれあい喫茶
- ふれあい型食事サービス
- 子育てサロン
- 老人会(書道・フラダンス・脳トレ麻雀・囲碁・将棋) など
- 老人敬愛体育大会
- 納涼盆踊り大会(2年毎)

### 大隅東地域のこれから

- 現在、多くのボランティアに支えられ、活発な活動をしています。これからも今の状況が継続してほしいと願っており、後継者を育てることが課題となっています。食事サービスや喫茶でのボランティアは、料理のコツが身につく上、仲間も増えるという魅力的なものです。どんどん参加して頂ければと思います。



ボランティアの方々を支えられ

■ PTAや子ども会も活発なので、他のボランティアにもその経験を活かしてもらえれば嬉しいです。

■ 区社協へは、インターネットが盛んとなる中、ホームページ等による情報発信を期待しています。ボランティア募集など、これまで参加していない人へのきっかけ作りを発信して欲しいです。



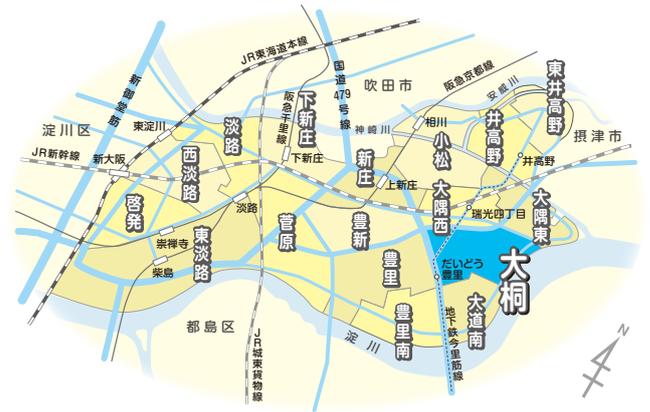
# 大 桐

## 地域社会福祉協議会

### 地域のデータ

- 人 口：11,656人(区内6位)
- 世 帯 数：5,315世帯(区内8位)
- 少子化率：13.5%(区内5位)
- 高齢化率：17.9%(区内12位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 大桐地域の変遷

1964(昭和39)年大桐小学校独立発足以後、“住んで良かった大桐に”をモットーに、健康的で明るい連帯意識のあるまちづくりを目指し活動を続けています。

### ■ 現在の状況

- 大桐スポーツクラブを中心にグランドゴルフ・ゲートボール・ソフトバレー、子ども会ではキックベース・ソフトボールなど、スポーツに力を入れています。
- 防犯カメラ設置に積極的に取り組み、高齢者・子どもの見守り・声かけ運動も強化し、地域の防犯対策に力を入れています。



思い思いにスポーツを楽しんでいます



- 福祉の勉強会を地域で開催中です(年4~5回)。
- 地域の子供たちに大人気の広報部長「だいどうさん」も頑張っておられます。

金谷区長と一緒に区民まつりを盛り上げる地域の人気者「だいどうさん」

### 事業・活動等

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ふれあい喫茶      | 老人会       |
| ふれあい型食事サービス | 大桐スポーツクラブ |
| 子育てサロン      | 元気塾 など    |
| 百歳体操        |           |



子どもたちの見守り

### 大桐地域のこれから

- 地域の防犯対策にしっかりと取り組んでいるので、大きな犯罪は今までに起きていません。高齢者も多くなり認知症の方の徘徊にも気をつけて取り組んでいる背景には、子どもからお年寄りまで地域の方々の目に届くようにしたいという強い思いをもっているからです。
- 町会単位でネットワーク委員を作り、“向こう三軒両隣”を合言葉に福祉活動に力を注いでいきたいとの強い願望があるので、これからも力を合わせ前進していこうと思っています。



青バトでの地域巡回

# 大道南

## 地域社会福祉協議会

### 地域のデータ

- 人口：6,278人(区内17位)
- 世帯数：2,590世帯(区内17位)
- 少子化率：18.3%(区内1位)
- 高齢化率：18.1%(区内11位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 大道南地域の変遷

豊里大橋から北東方向にある比較的小さな地域です。1987(昭和62)年、豊里小学校と大桐小学校の校区の一部を分割合併し大道南小学校が誕生。その校区を地域とする大道南振興町会が1989(平成元年)年に発足しました。二つの地域の合併は難しい点もありましたが、子どもへの思いは共通で、子ども会発足をきっかけにまとまりました。2006(平成18)年には、地下鉄だいどう豊里駅が開通。交通の便が良くなり、住宅も急激に増えています。

まちのシンボルは、小学校のとんがり帽子の時計台です。地域内に信号は一つしかなく、大阪市内にありながらも、のどかな雰囲気を残しています。犯罪や事故等も少なく、安全で住みよいまちです。

### ■ 現在の状況

- 小学校との結びつきが強く、活発に活動をしています。
- (子ども達との交流) 老人クラブでは、毎年1,000枚以上の雑巾を小学校に贈っています。また、ふれあい教室では昔あそびを伝えています。一方、敬老大会では、児童から感謝の気持ちをこめた手作りのプレゼントが贈られ、町なかで会えば挨拶を交わす関係です。
- (こども料理教室) 夏休みには、食事サービスのボランティアが中心となって、子どもにも作りやすいオリジナルメニューが考えられており、参加者が50名にもものぼる人気の行事です。
- (子どもたちの見守り) 夏休み夜間巡視・校下巡視・みまもるデーなど様々な取組みをしています。



こども料理教室

### 事業・活動等

- ふれあい喫茶 大道南敬老大会
- ふれあい型食事サービス 地域コミュニティまつり
- 子育てサロン 子どもたちの見守り
- 百歳体操 大宮神社・大隅神社春秋まつり巡視
- 老人クラブ(囲碁・将棋・カラオケ・歩こう会) など



敬老大会

### 大道南地域のこれから

- 連合町会内の連携の良さが自慢の地域です。その仲の良さを生かし活発な活動をしていきたいと思えます。
- 住民の高齢化が進む中、ボランティアの年齢層も高くなっています。老人クラブは、緑化運動として公園の花の世話や清掃活動で活躍していますが、その参加者も決まった顔ぶれになりつつあります。これからは、輪を広げていくことが課題です。また、若い人たちにもボランティアの素晴らしさを味わってもらい、多くの住民で活動できるように努力することも必要と思えます。
- 地域活動協議会が設立し体制に変化がある中、団体の組織が複雑に感じることがありますが、地域住民が明るく、安心安全に暮らすために、現在の活動を継続し取り組むことが大切だと考えます。



ボランティアは地域の活力源

# 豊 里

## 地 域 社 会 福 祉 協 議 会

### 地域のデータ

- 人 口：12,293人(区内4位)
- 世 帯 数：5,869世帯(区内7位)
- 少子化率：15.1%(区内2位)
- 高齢化率：15.3%(区内17位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 豊里地域の変遷

古来、現在の城北公園あたりにあった集落から移り住んだ人たちが作った地域です。かつては、一部に蓮根畑もありましたが、緑豊かな地域が広がり、1960(昭和35)年の区画整理と共に開発が進みました。万国博覧会や豊里大橋の建設を機に住民が増え、一時は豊里小学校が日本一のマンモス小学校になるほどでした。豊新、豊里南、大道南と分割をくりかえし、現在の姿となりました。地域の中には、中央公園、北淀高校、視覚特別支援学校があり、緑が多いのも特徴の一つです。

2001(平成13)年に全国社会福祉協議会より、活発なボランティア活動に対して表彰されたことは、地域の誇りとなっています。

### ■ 現在の状況

- “子育て支援から老後の支えまで”をスローガンに、活発なボランティア活動をしています。
- 高齢化の中、高齢者カードをつくることにより、住民の状態を把握し、顔を見かけない時には連絡を入れるなどの配慮を心がけています。
- 『健康ウォーク』、『ふれあい歌と体操』、『友友健康教室』等、健康を目的とした活動が多くあり、好評です。
- 『ふれあいサロン』は、ウエスト・イーストの2ヶ所にあり、高齢者も行きやすいと喜ばれています。
- 会館内の事務所が活動の拠点となっています。部屋の一角では、高齢者やボランティアが、ゆっくりと話ができるコーナーがあります。
- 食事サービスは、献立から調理までみんなで考え、毎回手の込んだものを提供しています。

Pick up



食事サービスで活躍するボランティアさん

### 事業・活動等

- ふれあい喫茶(ふれあいサロン ウエスト&イースト)
- ふれあい型食事サービス
- 友友健康教室
- 老人クラブ(囲碁・将棋)
- 子育てサロン
- ふれあい歌と体操
- カラオケ教室
- いきいきサロン
- 健康ウォーク
- 登下校見守り活動
- 子育て教室
- ボランティア養成講座
- 車いすの貸出し など

### 豊里地域のこれから

- 住民の多くが各々のできることで、ボランティアを楽しみ活躍しています。ボランティア自身が、誘い合ってその輪を広げており、年齢層が幅広いことも嬉しく思います。
- 高齢者が増えている中、力仕事など人手の足りない場面もありますが、スポーツで会館を利用している団体等に助けをいただくこともあります。また、地域にある北淀高校の生徒との交流も盛んで、敬老大会や夏祭りではボランティアとして協力していただき、有難いと思います。

■ 今後は、各団体のパイプ役となる人材を育て、住民全員が、何らかのボランティア活動に参加することにより、さらに充実したコミュニティを目指します。



健康ウォーク



登下校見守り活動

# 豊里南

## 地域社会福祉協議会

### 地域のデータ

- 人口：7,944人(区内14位)
- 世帯数：3,892世帯(区内13位)
- 少子化率：12.6%(区内8位)
- 高齢化率：19.5%(区内8位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 豊里南地域の変遷

以前は豊里地域でしたが、1960(昭和35)年の区画整理をはじめ、万国博覧会の開催、豊里大橋や当時の公団住宅の建設により急激に人口が増加したため、分離しました。

区画整理の折には、地域住民が協力して行政に働きかけ、必要となる施設や公園の確保に尽力し、現在の地域状況となりました。

地域の拠点となる豊里南福祉会館では、連合女性部を中心に、さまざまな地域ボランティア活動を進めています。

### ■ 現在の状況

- 子どもたちに対する見守り活動を中心に地域住民の協力で防犯対策に取り組んでいます。
- 世代間交流事業として、地域敬老大会では、案内状やお祝いの手紙を子どもたちがお年寄りに贈り、大変喜ばれています。また、式典後には地域の方々の踊りやコーラス、児童たちの楽器演奏などで盛り上がり、すべての世代が参加・交流しています。

### 事業・活動等

- ふれあい型食事サービス
- 子育てサロン
- 喫茶コーナー
- ふれあいサロン
- 子供会(ソフトボール・キックベースボール)
- 老人クラブ(囲碁・将棋)
- グランドゴルフ
- カラオケ教室
- 高齢者ボランティアバスツアー
- 見守り活動
- 青パト活動 など



### 豊里南地域のこれから

- ボランティアの高齢化が進み、若い世代の参加・育成を強化したいと思っています。
- 30代の若いボランティアの方々を中心として、『こども食堂』をやりたいとのかねてからの要望から、現在、実現に向けて準備中です。本格的な活動に先がけて11月10日、ようやく「第1回こども食堂」を開催することができました。



公園の清掃活動にいそいそボランティアさん



地域敬老大会では、世代間交流もかねて、子どもたちからお祝いの手紙が贈られます

# 豊新

## 地域社会福祉協議会

### 地域のデータ

- 人口：12,586人(区内3位)
- 世帯数：7,172世帯(区内4位)
- 少子化率：10.7%(区内11位)
- 高齢化率：15.4%(区内15位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 豊新地域の変遷

1973(昭和48)年、急速な人口・児童数の増加により、菅原・豊里・新庄・大隅の4地域の一部を合わせて組織され、豊新地域・豊新小学校が誕生し、同時に豊新社会福祉協議会も設立されました。豊新(ほうしん)とはその名のとおり、「豊かで新しい」という意味です。

1975(昭和50)年、容量100トンの耐震貯水槽が多幸公園の地下に埋設されて以来、毎年9月に『防火訓練の日』を定め、訓練を実施しています。

1977(昭和52)年、それまで4地域それぞれで実施していた盆踊り大会を一つにまとめた『地域盆踊り大会』を開催。今年で40回目を迎えました。

### 現在の状況

- 今年度の防災訓練は、10月にテーマを豊新地域防災対策として、災害時の避難所開設運営について訓練をおこないました。また、連合・地活協・各種団体組織をあげて、地域の“安心・安全”に基づいたワークショップ形式による訓練をおこないました。
- 従来、ふれあい型食事サービスのメニューは和食中心でしたが、最近はサンドイッチ・コーヒーといったメニューに変更し好評を得ています。食後は各クラブの民謡・折り紙・手芸等、季節に合ったイベントを取り入れるなど、楽しく実施しています。
- 『ぷらっと豊新』では、喫茶サロン「ひまわり」で軽食(季節によりメニュー変更)や飲み物を提供しています。
- 『豊新福祉会館』では、「おやこ広場」子育て支援を実施。若いお母さん、小さい子どもさんを連れて遊びに来てください。

Pick up

### 事業・活動等

- ふれあい喫茶(喫茶サロン「コスモス」)
- 校外キャンプ(小学校高学年対象)
- ふれあい型食事サービス\*
- 校庭キャンプ
- 防災訓練
- 子育てサロン
- ふれあいフェスティバル など

\*「豊新福祉会館」「豊新老人憩の家」の2ヶ所で曜日を変えて実施

### 豊新地域のこれから

- 以前作成した『あんしんカード』は、現在も事務所に保管し活用を模索中です。
- 地域活動協議会が発足し、連合とも協力し積極的な活動をおこなっていますが、構成メンバーに地域の偏りがあるので、よりよい情報共有ができるよう取り組んでいます。地域独自で取り組んできた『救急カプセル』を、地活協と共に活用したいと考えています。
- 『ふれあいフェスティバル』を青少年指導員やPTAと連携して実施。さらに発展させるため、適切な時期への変更を検討しています。
- この町にもさびしい事が一つ。それはお寺と神社がないことです。他の地域では“祭り”といった行事がありますが、当地域では考える事ができません。豊新連合振興町会・地域活動協議会と棲み分けをするのではなく、共に連携することで地域における支えあい確立し、防犯や防災・まちづくり、認知症高齢者の増加による見守りなど区社協とも連携しながら、地域の課題に取り組み、地域を盛り上げていければと考えています。また、ネットワーク推進員に代わる組織で高齢者の相談窓口を設置していければと思っています。
- 地域にある企業とも連携し、これまで様々な行事を実施してきましたが、年々連携が弱くなっているように感じる事もあり、これまで以上に連携を密にした活動を実施していきたいと考えています。



ふれあい喫茶



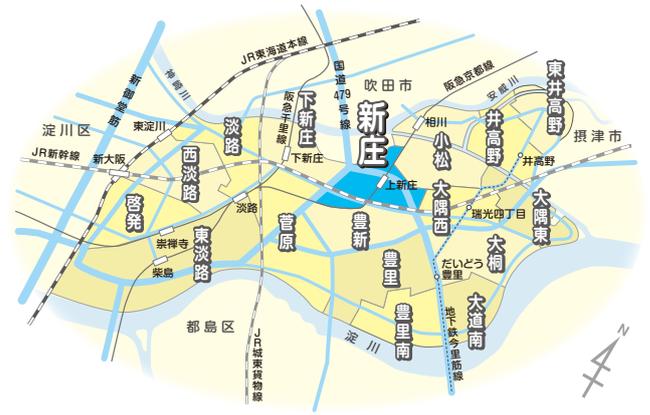
# 新 庄

## 地 域 社 会 福 祉 協 議 会

### 地 域 の データ

- 人 口：9,533人(区内9位)
- 世 帯 数：5,292世帯(区内9位)
- 少子化率：10.3%(区内12位)
- 高齢化率：18.1%(区内10位)

(2010年国勢調査の結果より)



### 新 庄 地 域 の 変 遷

1951(昭和26)年、地域社協発足。当初は、現在より広域でしたが、地域の発展に伴い、1953(昭和28)年に小松、1958(昭和33)年に下新庄、1973(昭和48)年に豊新が分離し、現在の姿となりました。かつては農村地帯でしたが、高度成長期を経て、住宅や商業施設が多くなり景色は一変しました。昨今は上新庄駅周辺の駐輪場不足が問題でしたが、住民の尽力により改善し、整然とした街並みを保っています。

2000(平成12)年、『新庄ふれあいサロン』を地域のコミュニティの核として開設。16年経った今も尚、その魅力に陰りはなく、カラオケや将棋、お喋りなど住民のコミュニケーションに大いに役立っています。

### ■ 現 在 の 状 況

- 地域活動協議会の福祉・高齢者部会の中核として、活発な活動をしています。ボランティアの不足や高齢化が問題ですが、『新庄ボランティア掘り起こし事業』を提案し、まち美化ボランティア・防災かまどベンチ設置事業等を通して、ボランティアの拡大に努めています。
- 各町会にて小地域福祉活動・要援護者支援を目的としたミニネットワーク委員会が活動しています。新庄地域では、他都市の実情調査のために平成20年、25年の2度にわたり、宝塚市社協の視察を実施しました。平成25年度には組織強化、平成26年度からは災害時要援護者についての体制づくりを進めています。



ミニネットワーク委員会結成大会

### 事 業 ・ 活 動 等

- ふれあい喫茶      ミニネットワーク活動と要援護者支援
- ふれあい型食事サービス      ふれあいサロン
- 子育てサロン      地活小学校いきいき事業への運営参加
- 百歳体操      新庄地域敬老大会
- 育児サークル事業      社会を明るくする運動 など



運動会

### 新 庄 地 域 の こ れ か ら

- 超高齢化社会の中、個人の孤立、家族の孤立をなくすためには、“開かれた地域コミュニティ”で支える必要があると思います。『新庄ふれあいサロン』は、地域コミュニティの中心ですが、利用者が固定化、高齢化しつつあります。PTAや青少年指導員等の若い層にも大いに利用してもらうことにより、開かれた地域住民のコミュニケーションの場に育てなければと考えています。

■ 平成25年に地域活動協議会が発足し、各種団体の協議機関としての機能は地活協が担うこととなりました。地域社協はその構成団体として、地域福祉の恒例行事を行っています。今後は、東淀川区地域保健福祉計画と関連し、区役所・区社協・地活協・地域社協の関係を具体的に整理していく必要があると思います。